



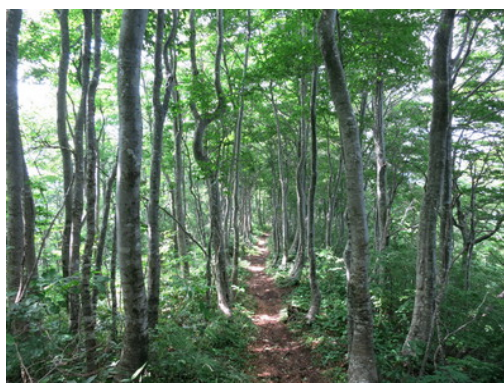
KAGA
FOREST ASSOCIATION

かが森林組合

組 合 案 内

2015年度

組合概要・沿革



【沿革】

平成10年 小松市森林組合が事業主体となり那谷工場を建設
平成12年4月 加賀市, 山中町, 小松市, 辰口町の森林組合が合併し『かが森林組合』発足
平成17年5月 FSC認証及びCOC認証取得
平成19年4月 白山森林組合と合併し現在の管内となる
平成25年5月 有川組合長より田中組合長に交代

【概要】

組合名 かが森林組合
所在地 本所・小松支所 〒923-0181 小松市長谷町3244番地
加賀支所 〒922-0831 加賀市幸町2丁目90番地
山中支所 〒922-0128 加賀市山中温泉こおろぎ町172番地2
白山支所 〒920-2321 白山市吉野76番地
辰口出張所 〒923-1224 能美市和気町い19番地
那谷工場 〒923-0336 小松市那谷町金1番地

項 目	内 容
名称	かが森林組合
代表者	代表理事組合長 田中 隆平
設立年月日	平成12年4月1日
出資金	273,016,000円
組合員数	6,533名
役員数・総代数	24名・250名
管内森林面積	113,975 h a
民有林面積	86,189 h a
従業員数（臨時含む）	37名
作業員数（外注）	約80名

事業内容

指導事業



林産組合組織

管内各集落に林産組合組織を立ち上げ、林産組合長さんが森林組合と組合員のパイプ役となり、合意形成の取り纏め等を行って頂いています。

また、各集落からの要望等は林産組合長を通じ森林組合へしていただく仕組みとなっており各集落の総意を反映した事業を実施することが出来、円滑な組合活動が可能となっています。



協力事業体

当組合には、直営の現場作業員制度はなく、すべて請負形式によります。請負事業体は、会社組織から個人経営まで様々ですが現在22社約100名の方々に働いて頂いています。請負事業体では、『かがみどり会』という組織を立ち上げ、安全衛生や、社会保障制度等各種勉強会を開催し相互の意見交換の場としています。（現地研修）



地区座談会

2月から3月にかけて、管内16会場にて組合の実施してきた事や、これからやりたい事など、組合員さんと膝を交えた座談会を開催しており、平成26年度は総勢800名の方々に参加頂きました。

事業内容

販売加工事業

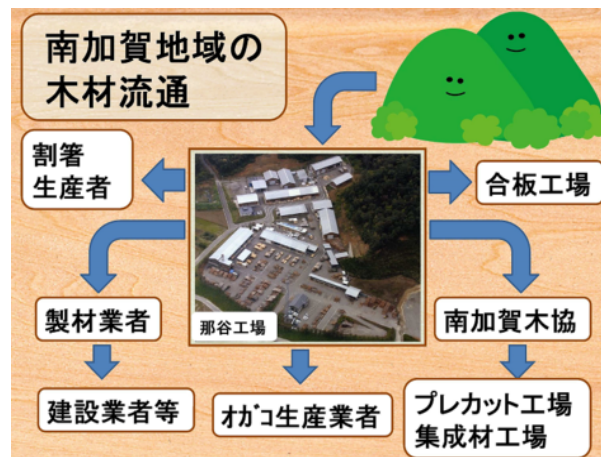


那谷工場

工場にて、市売り業務、加工業務を行っています。

市売り業務 → 毎月第4水曜日に実施しています。

加工業務では、建築用材(柱、間柱)工場と土木資材工場があり、集団間伐地から出荷された木材を有効利用しています。



材の流れ (H25.1～12月)

⇒ 大型工場等へ直送
3,815立米

間伐現場等より ⇒ 市売り
16,106立米 4,168立米

⇒ 工場加工 ⇒ 製材品等 2,469立米
8,123立米 土木資材 970立米



チップ生産場

(株)コマツへバイオマスボイラー用燃料として木質チップを納入しています。

(平成32年度目標 7,000 t : W/B 30%)



薪販売

かが森林組合では、環境を良くするため伐採した広葉樹を薪に加工し販売しています。

【平成26年度販売状況 231 t】

事業内容

森 林 整 備 事 業



集団間伐事業

複数の森林所有者の同意を得て集団的に間伐を実施し、木材を那谷工場へ搬出し有効利用しています。

【事業の流れ】

同意を得る（経営計画） → 見積書の作成 → 着手承諾を得る → 作業実施 → 完成 → 完了確認を得る → 清算



境界明確化事業

森林所有界が判らなくなっている現在、次世代に財産を引き継ぐために、少しでも多くの境界が明確になるよう取り組んでいます。

事業の同意を得る → 境界の立ち会い → 両者境界境を挟んで写真を撮影し、組合で管理します。 → 成果品作成



皆伐・再造林への取組

森林の公益的機能の維持、向上や持続的な林業活動を行っていくためにも、令級構成の平準化が必要です。



作業道補修

組合独自の作業道補修積立金により管内作業道の補修をしています。

業績

取 扱 い 推 移

		小松・辰口	加賀・山中	白山	公営他	合計
平成21年度	面積 (ha)	129	64	46	23	262
	材積 (m³)	7,358	8,389	2,422	3,257	21,426
平成22年度	面積 (ha)	155	85	20	57	317
	材積 (m³)	6,883	4,338	2,581	2,420	16,222
平成23年度	面積 (ha)	176	89	31	53	349
	材積 (m³)	5,628	2,407	1,483	796	10,314
平成24年度	面積 (ha)	123	69	18	49	259
	材積 (m³)	6,795	4,110	1,854	873	13,632
平成25年度	面積 (ha)	40	9	7	38	94
	材積 (m³)	1,759	1,121	248	2,260	5,388

過去5年間の集団間伐推移

間伐実施は森林整備事業、材の取り扱い、販売事業であり、それぞれ完了時点で収益を計上している関係上、面積と材積は必ずしも整合していません。

全体的に、間伐が減少している傾向にあります。

初期の間伐を終えた箇所が多くなっているのが要因と考えられます。

		小松・辰口	加賀・山中	白山	公営他	合計
平成21年度	面積 (ha)	238	107	193	266	804
平成22年度	面積 (ha)	105	80	136	191	512
平成23年度	面積 (ha)	92	69	121	190	472
平成24年度	面積 (ha)	69	28	35	55	187
平成25年度	面積 (ha)	21	2	3	31	57

過去5年間の切り捨て間伐推移

切り捨て間伐の主な事業は、平成19年度から導入された「いしかわ森林環境税」による、手入れ不足人工林の整備によるものです。

この、事業においても、整備が進み、実施量は年々減少傾向にあります。

		小松・辰口	加賀・山中	白山	公営他	合計
平成21年度	面積 (ha)					0
	材積 (t)					0
平成22年度	面積 (ha)					0
	材積 (t)					0
平成23年度	面積 (ha)	10	1	1		12
	材積 (t)	455	381	106		942
平成24年度	面積 (ha)	8	4	8		20
	材積 (t)	1,373	513	1,063		2,949
平成25年度	面積 (ha)	12	0	7		19
	材積 (t)	1,784	0	944		2,728

過去5年間の広葉樹伐採の推移

平成23年度から、高齢化した広葉樹を中心に、伐採し広葉樹の有効利用しながら、萌芽更新させ広葉樹の若返りを図っています。

伐採した広葉樹は、薪生産や、オガコ生産に利用されています。

入荷量と単価の推移(針葉樹)

	入荷量m³	市売量m³	市売単価 円	工場使用量m³	直送販売m³	都谷以外直送量m³
平成21年度	21,335	7,965	11,882	3,863	9,507	1,341
平成22年度	15,129	6,701	13,393	4,423	4,005	1,185
平成23年度	15,272	7,239	13,711	5,809	2,224	1,297
平成24年度	15,912	5,769	12,115	6,840	3,303	1,148
平成25年度	14,422	3,923	14,449	6,795	3,704	135

主要製品出荷量

単位: m³

	柱	間柱	ひき角	引き割	板類	杭木製品	チップ・材口	計
平成21年度	666	473	105	211	28	1,036	2,012	4,531
平成22年度	559	461	143	194	45	838	2,877	5,117
平成23年度	1,242	417	104	163	50	1,019	2,927	5,922
平成24年度	1,022	568	283	230	85	859	3,113	6,160
平成25年度	1,082	709	392	312	67	1,115	3,395	7,072

那谷工場取扱い状況

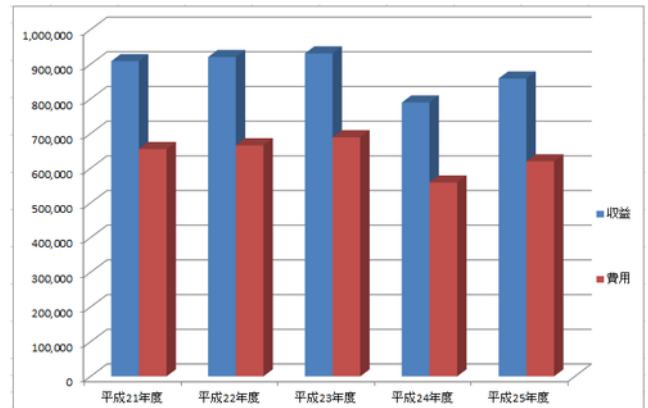
那谷工場への出荷量は、年間約15千立米で推移しています。市売り量は、年々減少している傾向にありますが、市売りよりも工場での加工や、大型工場への直接出荷などに重点を置きつつあるためです。

那谷工場では、隣接した、南加賀木材協同組合と連携し、地域産材の有効利用を図っています。主力製品として建築材料では、柱、間柱を中心に生産しています。また、公共土木資材としての木材利用も積極的に取り組んでいます。

業績

経営状況

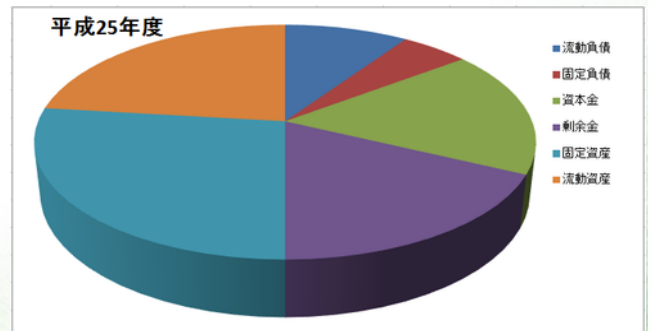
損益計算書		単位:千円				
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
収 益	908,800	920,776	931,183	789,558	858,902	
費 用	655,505	666,219	689,402	559,017	619,950	
事業管理費	251,856	257,500	240,373	238,065	230,059	
事業利益	1,439	△ 2,942	1,407	△ 7,524	8,893	
事業外損益	3,895	4,638	2,481	3,134	3,532	
経常利益	5,334	1,696	3,888	△ 4,390	12,425	
特別損益	△ 1,182	1,780	△ 29	471	2,497	
税引前当期純利益	4,152	3,476	3,859	△ 3,919	14,922	



一昨年から林産組合長さん方を通じて組合員の方々に説明しながら進めてきた「森林経営計画」は現在46団地23千haあまりの5年計画を樹立することが出来ました。また、集約化業務を進める新しい資格「森林施業プランナー」にも当組合より受験者4名全員合格し、今後、資格を大いに生かし計画区域を拡大しながら、森林整備を進めたいと思っています。

しかしながら、24年度決算状況は、経常利益で赤字となりました。原因は、森林経営計画樹立に全職員が地区分担をして取り組み努力した結果、現場作業の段取りが数カ月遅れたことが要因であります。今後は、更なるコスト分析をしながら、経費節減を図り、健全経営に努力します。

貸借対照表		単位:千円				
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
流 動 資 産	477,905	529,630	493,265	566,427	358,635	
固 定 資 産	444,735	451,648	440,542	430,226	416,979	
資 産 合 計	922,640	981,278	933,807	996,653	775,614	
流 動 負 債	274,773	316,413	277,492	368,503	146,710	
固 定 負 債	114,375	128,252	117,508	94,639	80,712	
資 本 金	271,614	272,058	271,194	270,616	271,175	
剰 余 金	261,878	264,555	267,613	262,895	277,017	
負債・純資産合計	922,640	981,278	933,807	996,653	775,614	
流動比率	174%	167%	178%	154%	244%	
自己資本比率	58%	55%	58%	54%	71%	
固定比率	83%	84%	82%	81%	76%	



流動比率：企業の短期的支払能力を判断する指標で170%以上が良好とされています。

自己資本比率：企業の安全性をみるもので、高ければ高いほど資本の安全性が高いといえ、30%以上が望ましい。

固定比率：固定資産に投下された資本がどの程度自己資本によって賄われているかを示す比率で100%以下が望ましい。



かが森林組合

〒923-0181
石川県小松市長谷町ヨ244番地

TEL : 0761-46-1341
FAX : 0761-46-1177

E-mail : komatsu@kaga-forest.or.jp
WEBSITE : <http://www.kaga-forest.or.jp>



こちらから
携帯サイトを
ご覧になれます